



名護市ふるさと納税

クラウドファンディング事業 のご報告 No. 004



事業コード : CF28003

集まった金額

1, 427, 000円

(目標 : 2, 309, 000円)

達成率

61%

寄附人数

51人

(寄附期間 : H28. 12. 1 ~ H29. 8. 31)

**威厳ある顔をもつ真稲獅子の魅力と伝統技術を継承するため、
獅子の修復とレプリカ製作を行いたい。**

目的 : 真喜屋・稻嶺区豊年祭獅子の修復と新たなレプリカ獅子を新調する。

使い道 : 真喜屋・稻嶺区豊年祭獅子の修復と新たなレプリカ獅子の製作費。

事業名 豊年祭獅子の修復及びレプリカ製作事業

実施団体名 真稲神祠会(名護市真喜屋区 稲嶺区)

団体の説明 : 豊かな海と山に囲まれた真喜屋区と稻嶺区は元々一つの小さな集落でした。豊年祭では昔から両区合同で行われており、豊年祭を司るのが真稲神祠会です。会長は真喜屋区長、副会長は稻嶺区長がそれぞれ就任しています。

お問い合わせ先: 0980-58-2748

(名護市字真喜屋73番地 真喜屋公民館)

事業の詳細は次のページ

名護市ふるさと納税クラウドファンディング事業にご協力をいただき、ありがとうございました。

皆様からお寄せいただきました貴重なふるさと納税は、本報告書のとおり有効に活用いたしましたので、ご報告いたします。

名護市ふるさと納税クラウドファンディング事業とは

名護市では、市内の各区が提案する事業の中から寄附者が自由に選んでふるさと納税することできる「名護市ふるさと納税クラウドファンディング事業」を実施しています。

詳しくは、「名護市 クラウドファンディング」で検索するか、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ】

名護市役所 総務部 財政課

☎ 0980-53-1212 (内線104)

名護市 クラウドファンディング

検索

真稻地区の魅力がつまつた村踊り

名護市の北部に位置する豊かな海と山に囲まれた集落、真喜屋区と稻嶺区。この両区はもともとひとつの集落でした。この地区は、真稻地区(しんとうちく)とも呼ばれています。

そんな真稻地区で構成する真稻神祠会の豊年踊りは村踊りとも呼ばれ、今年で218年もの長い歴史があります。

豊年踊りは、村の守護神への奉納踊りであり、君恩報謝、五穀豊年、子孫繁栄、そして住民の健康を祈願する祭りでもあります。両区による綱引きから始まり、棒術、長者の大主から始まる舞踊、獅子舞、そして最後は棒術で締めくくる内容となっています。

現在では一緒に行われている「綱引き」「獅子舞」「長者の大主」の三大行事ですが、もともとは別々の日に別々の行事として行われていました。



綱引き



長者の大主



獅子舞



棒術

しかし、年に3回もの行事は区民の負担も多く、次第と簡素化しようという流れから一緒に挙行するようになりました。その日にちも3つの行事の中間の日が良いのではとないかと、もともと「獅子舞」が行われていた旧暦8月8日が選ばれました。

こうして今まで続いている豊年踊りですが、最近ではその魅力が観光客にも広がっているのでしょうか、「綱引き」や「長者の大主」、「獅子舞」の演目を目当てに来られる観光客も増えてきています。

魅力いっぱいの真稻獅子舞だが・・・

そんな真稻豊年踊りですが、その中でも獅子舞は最も人気がある演目のひとつです。真稻の獅子舞は雄獅子1体と獅子を操る者「獅子ワクヤー」の対で構成され、県内各地で上演されているような軽快で華やかな動きはありません。獅子舞の獅子の動作としては「静」と言えるでしょう。しかし、ゆっくりとした中にも威厳ある獅子の顔や表情が特徴的で、子供たちが泣き叫ぶほどの迫力があります。また、獅子舞に用いる曲目もスローテンポな与那節と松本節であることからも「静」を表現しています。

獅子の中には二人の男性が入り、ペアになって獅子を演じます。獅子の前方に入る若手の男性が頭部や顔の表情をつくる前部を操り(前者)、もうひとりの男性が前者を持ち上げたり回転したりと、獅子舞

のリード役(後者)となります。

獅子に入るとき前者は、写真1のように網に毛をつけた袴(はかま)を前者がまとめて、後者も写真2のように胴体部と一緒にになった袴(はかま)に入り、獅子を操ります。



写真1



写真2

そして獅子を演じる訳ですが、獅子内部の網(胴体部の毛で覆われている)がこするため、胴体部の毛が抜け落ちたり、網が切れたりと獅子の老朽化が進んでいる現状があります。また、若者の体格向上に伴い、身長が高い演者の場合は獅子の内部が狭く動きが取りづいため、網の摩擦が激しくなり、さらに老朽化が進行しているのです。

獅子改修に向けて・・・クラウドファンディングの実施

真喜屋・稻嶺両区で構成する真稲神祠会では改修に向け、これまで獅子改修検討会で沖縄県の伝統工芸士を地元に招き、獅子頭部の蠶(たてがみ)の綻びや顔部の傷や塗料剥がれ、胴体部の網や体毛の取替等の対処法を学び、今後の真稲獅子の在り方について話し合いました。

現存する獅子の改修個所

- 獅子頭・顔の傷や塗料を剥がし漆塗りとする。
- 獅子胴体部の網は伸縮性とし、演じやすいよう拡張・製作する。
- 獅子胴体部の体毛は糸芭蕉等の植物繊維を使用すること。
- 網製作は胴体網1、前者用袴1、後者用袴1とする。
- 体毛として使用する植物繊維は色付けし、区民が網に取り付ける。



獅子の顔 (改修前)



獅子全体 (改修前)

獅子の改修に当たっては、名護市ふるさと納税クラウドファンディングの制度を利用することとなりました。平成28年12月1日から平成29年8月31日までの間、2,309,000円を目標として寄附を募ったところ、51名の方から1,427,000円の寄附をいただきました。多くの方に私たちの取

り組みをご理解していただき、とても心強く感じました。ありがとうございます。惜しくも目標額には届きませんでしたが、皆様の後押しもあり、計画を縮小して獅子の改修を実施しました。

そして、獅子頭部と胴体部の新調製作、現存獅子のレプリカの新調製作を実施することが出来ました。

完成した獅子



今年の『獅子舞』が楽しみ！

これまで練習するとき、獅子頭の老朽化のため、獅子を使わずに練習していました。しかし、これからはレプリカ獅子で思う存分練習をし、本番の豊年祭では神獅子を使って演武ができるので、これから練習するのが楽しみです。

ご協力ありがとうございました

神獅子とレプリカ獅子の製作が出来たのは、各方面の方々より多くのご寄附のおかげでございます。

今後は、伝統継承は元より、県内外で真喜屋・稻嶺区の『獅子舞』のすばらしさを発信できたらと頑張って参ります。

本当にありがとうございました。そして、機会がありましたら、新しくなった真稲獅子をご覧に真稲地区へお越しください。お待ちしています。

寄附金の使い道

皆様からお寄せいただきましたふるさと納税は、下記の用途に使用させていただきました。

- 獅子頭部・胴体部の新調製作
- 現存獅子のレプリカを新調製作

合計 1, 976, 400円 (うちふるさと納税 : 1, 427, 000円)